

## NDMHS 教職員インタビュー

Class7-A 担任 イスラム&モラルスタディ科  
ゴラム・サルワル先生から

**Q.ゴラム先生にとってNDMHSはどんな学校ですか？**

A.子どもたちの幸せ・成長に着眼した理念経営がされていて、教員研修などの取り組みに代表されるように、学校全体としてレベルアップをしていく文化があります。

子どもたちも、規律ある行動ができ、またその完成を目指しております。



**Q.指導の中で特に注力されている点はどういったところですか？**

A.私は教科指導では理解、習得できるまで、何回も何回も反復させることに注力しております。生徒たちは今まで小学校で育った環境要因によって違いがでていただけで、本当に反復の努力を継続すれば、みんな優秀になれると私は信じています。

また、クラスの経営においては、学校の「7つの約束」を守らせる事を徹底しております。私のクラスの生徒は全員イスラム教を信仰しております。「7つの約束」はイスラム教典「コーラン」中の記述に非常に似通っていると言えます。

NDMHSはイスラム教の生徒にとっても、教えのもとで人間性を磨ける理想的な環境にあると言えます。生徒の間では厳しいと評判の私ですが、社会に出て堂々と自己実現してもらうために、私はそれで良いと思っています。

**Q.ゴラム先生の夢は何ですか？**

A.今の夢は自分の学校を持つことです。その学校では生徒の人間性に重点を置き教育活動を行います。

バン格拉デシュは学歴が一生残ります。一見すると勉強が一番重要だと思えます。

しかし良い成績を残すためにも、また社会に出て活躍するためにも人間性の成熟が不可欠です。

宗教の授業や、NDMHSでの活動を通して、生徒の人間性の面を鍛えていきます。

まずはそのノウハウを掴み、夢を実現する一歩にしたいと思いながら、私はここで働いています。



保護者も交えて厳しく指導するゴラム先生



そんないつも情熱的なゴラム先生は、生徒からも絶大な信頼を得ています。

ある日、生徒たちが1日の終業ホームルームの時間に、ゴラム先生にサプライズプレゼントを用意していました。

その日はゴラム先生の誕生日でした。普段厳しいゴラム先生も、さすがにこの時だけは笑顔を抑えきれませんでした。

## 前期夏休みへ

Bangladeshでは4月から本格的な夏に突入するため、NDMHS、ナラヤンクルBDP小学校では4月に2週間の前期夏休みを取ります。一年の7ヶ月が夏に分類される Bangladeshでは、7月にも夏休みを取ります。この休暇中、生徒の自立を促すために、適量の夏休み課題が出題されます。

生徒たちは校舎をピカピカに大掃除し、いよいよ夏休みだと、ワクワクしながら下校しました。

